

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>
 指定管理者 旭ビル管理株式会社



海を渡る蝶として有名なアサギマダラ。日本生まれで 2,000 ㎞も移動するそうです。フジバカマの花の蜜が好物で、9月から10月この花に群がるアサギマダラを見ることが出来ます。

「コロナ禍を経験して世の中が変化」
 今年は比較的猛暑日が少なかった夏。暦の上では11月7日で立冬となり冬の気配が近づいて参りました。コロナ禍で日常の風景がすっかり変わってしまいました。県を跨いだ移動がなくなり、東京や大阪まで行っていた研修がほとんどオンラインとなりました。一方、感染状況が徐々に落ち着き移動制限が解除となり、対面での交流も増えて改めてその良さが見直されています。
 さて、当施設では10月より文化・教養・創作教室の後期講座が開始されて多くの方に継続して受講頂いています。引き続き感染対策を取り対面での教室を継続して開催して参ります。DX（デジタル・トランスインフォーメーション）という言葉をご存じでしょうか？コロナ禍を経験して世の中は変化をして来ています。伯耆しあわせの郷も変化を取り入れて、より良い施設となるよう努力して参ります。

受講生募集

※申し込みは、11月2日（火）から先着順にて受け付け、定員になり次第締め切ります。

※受講料は初回前納。納入された受講料は原則返金いたしません。

※受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	回数	定員	受講料
韓国料理を作ろう！ 「変わりキムパムとカルグクス他」 調理師 西尾 春代さん	11月14日（日） 10：00～13：00	1回	20名	600円 （要材料費）
ちりめん細工教室 「干支作り」 明里 美也子さん	11月20日（土） 13：00～16：00	1回	15名	600円 （要材料費）
北欧のクリスマス飾り 「ヒンメリを作ろう！」 千熊 美由貴さん	11月28日（日） 10：00～12：00	1回	15名	600円 （要材料費）

今月の休館日

11月1日（月）、11月8日（月）、11月15日（月） 11月22日（月） 11月29日（月）

11月・12月開講スポーツ教室受講生募集

教室名 (初回日)	期間・日時	講師	定員	受講料 (回数)	
ステップアップ エアロ①A①B(11/17)	①A 11～3月 毎週水曜日 9時45分～10時45分	河本 珠紀	25	9,150 円 (15回) (保険料込)	
	①B 11～3月 毎週水曜日 11時～12時	河本 珠紀	25		
※「あ！この曲聞いた事ある」と気分高まる音楽に合わせて基本ステップから始め、徐々にレベルアップする初めての方にも参加しやすいクラスです。楽しいだけではなく、強化する筋肉や関節への意識を促し、効果的なエクササイズを目指します。					
エナジーエアロ(12/4)	12～3月 毎週土曜日 10時15分～11時15分	中原 啓子	25		
※アップテンポなリズムによって、さまざまに変化するコンビネーションを動いていきます。エアロボックスに慣れてきた方にお勧めの中級クラスとなります。					
リフレッシュヨガ①② (①12/3,②12/4)	① 12～3月 毎週金曜日 14時～15時	中原 啓子	35		
	② 12～3月 毎週土曜日 13時30分～14時30分	中原 啓子	35		
※肩甲骨や骨盤の安定にフォーカスしながら、立位や座位を組み合わせるよう動いていきます。初心者にお勧めのクラスです。					
ファーストピラティス (11/19)	11～3月 毎週金曜日 19時～20時	河本 珠紀	30		
※ピラティスは解剖学的エクササイズです。関節の動かし方、力の入れ方抜き方、「私はどうなりたいのか、今どうなのか」エクササイズの度に自問自答を繰り返しココロとカラダに向き合う時間。まさに「動く瞑想」とまで言われるピラティスの思考を体感してみませんか。					
太極拳(12/3)	12～3月 毎週金曜日 10時15分～11時45分	岡本 真由美	20		
※太極拳は中国の武術であり、健康運動です。まずゆっくりと身体をほぐしてから気功で身体を温め気血の流れを良くし、代謝を高めます。それから太極拳で脚力をつけていきましょう。					

○ 受講の申し込みは、11月2日(火)より先着順に受付、定員になりしだい締切ります。

○ 受講料は初回全納です。納入された受講料は原則として返金しません。

○ 各教室とも、受講料の他に保険料(150円)が必要です。

○ 教室は一部変更または中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○ 託児を希望される場合は、教室申し込みのときにご相談ください。

(お子様1人につき、1回200円)

(*ヨガ、ファーストピラティスでの託児はお受けできませんのでご了承ください)



11/20
(土)

ちりめん細工

干支作り教室

11月2日(火)受付開始

予告

北欧のクリスマス飾り

「ヒンメリ」を作ろう!

11/28
(日)

コロナの影響が大きかった1年が終わろうとしています。来年こそは、コロナに負けず良い1年にしたいものですね。そんな良き1年を、可愛い干支の寅で迎えてみませんか?かわいい寅の干支細工が、良き1年を招いてくれますよ!



期日 11月20日(土)
時間 午後1時~4時
受講料 600円
材料費 600円
定員 15名(先着順)
講師 明里 美也子さん

表わらをつないで作る、北欧のクリスマス飾り「ヒンメリ」をご存じでしょうか?昨年初めて開催し、大好評の教室です。幾何学模様の「ヒンメリ」があなたのお部屋のおしゃれ度をUPしますよ。是非ご参加下さい。



期日 11月28日(日)
時間 午前10時~12時
受講料 600円
材料費 500円
定員 15名(先着順)
講師 千熊 美由貴さん



10月9日~22日まで、絵画教室の生徒さんの作品展「エスポワール展」を開催しました。先生を含めて、2教室33名の58点の力作を展示しました。10代から80代の幅広い年代の受講生の、油絵や水彩画を展示し、多くの方にご覧いただきました。

エスポワール展開催



伯耆しあわせの郷まつり代替え
教室作品展示会開催
中止となった、伯耆しあわせの郷まつりの代替え企画として、教室作品展示会を、9月25日から10月3日まで開催し、書道・日用条幅書道・日本画・写真・仏像・織物・編み物・文芸・各教室の作品を展示しました。



入選作
中村 武「月見の宴」

第19回 JPA 公募展

岡山会場

3/29(火)~4/3(日)

岡山県天神山文化プラザ

入場無料

第19回 JPA 公募展で写真教室受講者の中村武さんが入選されました。作品は来年の3月から岡山県で展示されます。

JPA(日本写真家協会)応募展で
中村武さん(写真教室)が入選

受賞候補作品

【工芸部門】
牧野有孝さん (織物教室)

【写真部門】
井上英明さん (写真教室)

入選

【洋画の部】
本内 宏さん (絵画教室)
井之上玉代さん (絵画教室)

【工芸の部】
森岡正子さん (織物教室)

【写真の部】
中村 武さん (写真教室)

倉吉博物館

11/6~11/13 洋画・版画・彫刻

11/17~11/23 日本画・工芸・デザイン

第65回県展で、織物教室 牧野有孝さん・写真教室 井上英明さんの作品が受賞候補作品となり、また、3部門4名の方が入選されました。

第65回 鳥取県美術展覧会
受賞候補 ・ 入選者紹介

開催中

パッチワーク教室作品展開催中

期間 10月30日(土)～11月14日(日)
場所 伯耆しあわせの郷 展示ホール

パッチワーク教室作品展を、10月30日～11月14日の期間で開催中です。(11月1日、8日は休館日)

今年のテーマは「Merry Xmas」です。ひと足早いXmasをお楽しみ下さい。

そのほかに、小物から、大作まで教室の生徒さんたちが、一年間こめて作られた力作を、展示していますので、是非ご覧ください。



駐車場にレンガ敷のラインを施工しました!



駐車場ラインの地面が土壌の為、これまでトラロープやビニール製の紐などを張って対応して参りましたが、冬場の除雪車で切断したり、色褪せしたりと劣化が度々あった為、施設職員の施工により、レンガを埋設し耐久性を向上させました。

当館のエントランスと多目的広場には、大きな銅鐸のモニュメントがあります。

なぜ、しあわせの郷の銅鐸が？

実は今から70年以上前の1947(昭和22)年頃、当館向かい側の軍人慰霊碑造成工事中に、高さ約44.3cmと約30.4cmの大小2個の銅鐸が発見されました。鳥取県内ではこれまでに15個の銅鐸が発見されていますが、複数の埋納は唯一の例だということです。

銅鐸は弥生時代中期から後期にかけてつくられた豊穰を祈る農耕祭祀の道具だと考えられています。古代、農作物や狩猟の豊凶は命にかかわる大事であり、豊穰を願う祭りは、すなわちしあわせを願う祭りであったともいえるでしょう。ここ倉吉に今から2000年も前から人が住んでいたということへの驚きと、大昔からくらし良い土地、くらし良かったことにちょっと感動。なお、出土した銅鐸は倉吉市に寄贈され、倉吉博物館に収蔵されています。



編集後記

コロナが少し終息する中、日本の疫病は2500年前に最初の疫病が起こっていった。第10代崇神天皇(すじん)天皇の頃、人口の3分の2(総人口約26万人)8万人に減りました。原因は不明でした。

崇神天皇は、この頃人が集まる場所といえは神社でしたので、全国の神社に命令し、様々な意見を聞きました。その中で、手水舎(ちようずしや)を作り必ず手を洗い口をゆすぐ事を徹底させました。この事がきっかけとなり短期間のうちに8万人にまで減った人口が、67万に回復することになります。

禊(みそぎ)とは、川や清水に入り、白装束で水の中で穢(けがれ)をおとすものでした。神社の境内に手水舎で手を洗い、口をゆすぎます。これは崇神天皇が義務づけたものです。この素晴らしい習慣が、現代の手洗いうがいに繋がっています。コロナで世の中が大きく変わろうとしています。これまでは効率重視の社会で、お金をいかに儲けるか利便性を考えてやってきました。世の中で、一見無駄だと思われるものが実は、安心安全に繋がるのではないかと思いません。